

藤沢市 平成30年度事務事業評価シート(平成29年度分)

事務事業名	都市親善費								担当課	部課名	企画政策部 人権男女共同平和課					
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	01	細目	010	説明	01	課等の長	西山 勝弘	電話	2133

1. 事業概要

事業開始年度	昭和 34 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務	
事業概要	姉妹友好都市を中心とした海外諸都市等との友好関係を深めるとともに、市民の国際理解推進を図るため、都市親善交流を行う。 ①姉妹友好都市等との親善事業 ②聶耳記念碑に関する事業 ③ふじさわ国際交流フェスティバルの開催					
事業目的および必要性	市民、関係団体、企業、大学などと連携・協働し、姉妹友好都市をはじめとする海外諸都市等との親善交流や産業・経済・スポーツなど様々な分野での目的別国際交流を推進する。 当該事業は、都市間の国際親善交流はもとより、市民や関係団体等民間レベルでの交流を深めていくうえで必要な事業である。					
対象	1. 個人	市民			427,501	人
根拠法令等						
事業実施手法(該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : 藤沢市都市親善委員会, ふじさわ国際交流フェスティバル実行委員会) (委託等内容 : 姉妹友好都市等との親善交流に関する業務, ふじさわ国際交流フェスティバルの開催) <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金 (補助金 : 聶耳記念碑保存会) <input type="checkbox"/> その他 ()					
藤沢市市政運営の総合指針2020						
重点施策名				指針体系コード		その他の計画との関連
市民参加型オリンピックの推進・パラリンピックの支援				2-1-41		
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」						
市民意識調査における質問項目				平成26年度	平成27年度	平成28年度
市民が自慢できるまちであること				3.4 点	3.5 点	3.4 点
				点	点	点

平成29年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
19,678 千円	報酬	8,694 千円	非常勤報酬(日額報酬)
	賃金	599 千円	パート賃金
	委託料	9,470 千円	藤沢市都市親善委員会委託料, ふじさわ国際交流フェスティバル実行委員会委託料
	補助金	250 千円	聶耳記念碑保存会補助金
	その他	665 千円	報償費, 旅費, 需用費
【参考】 平成30年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額 (千円)	主な事業内容
	報酬	9,224 千円	非常勤報酬(日額報酬)
	委託料	10,826 千円	藤沢市都市親善委員会委託料, ふじさわ国際交流フェスティバル実行委員会委託料
	補助金	250 千円	聶耳記念碑保存会補助金
	旅費	5,438 千円	費用弁償, 普通旅費, 特別旅費(姉妹友好都市への派遣)
その他	1,753 千円	賃金, 報償費, 需用費, 役務費	

2. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
正規職員等	2.00	2.00	2.50	2.40
再任用短時・任期付短時職員	0.00	0.00	0.00	0.00
非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	2.00	2.00	2.50	2.40

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

3. 事業実施内容・成果

平成29年度 事業実施 内容	①都市親善事業 昆明市公式訪問団受入（3月2～5日・6人） 「ウィンザー市との姉妹都市提携30周年記念」公式訪問団派遣（6月24～28日・6人）・公式訪問団受入（2月8～11日・5人） 「保寧市との姉妹都市提携15周年記念」公式訪問団派遣（7月21～23日・6人）・公式訪問団受入（9月22～25日・5人） 湘南藤沢市民マラソンへの姉妹友好都市等招待（1月26～30日・18人）						
	②聶耳記念碑に関する事業 聶耳記念碑前祭（7月17日・参列者118人） 聶耳記念碑参拝者対応（9団体150人）						
	③ふじさわ国際交流フェスティバル（10月28日荒天により中止・未実施）						
成果目標	指標名	単位	平成26年度 目標値	平成27年度 目標値	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	備考
	事業参加人数	人	10,400	10,450	10,500	10,500	
	ホームステイ・ビジット登録家庭	世帯	35	36	41	41	
	聶耳記念碑参拝者数	人	250	260	270	270	
参考							
活動実績	指標名	単位	平成26年度 実績値	平成27年度 実績値	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	備考
	交流事業数	件	7	10	15	20	
	ホームステイ・ビジット制度の紹介	回	1	1	1	2	
	都市親善委員会の開催	回	2	3	3	2	
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	事業参加人数	人	10,130	10,286	10,959	691	ふじさわ国際交流フェスティバル中止のため、参加人数10,000人減
	ホームステイ・ビジット登録家庭	世帯	34	40	49	18	
	聶耳記念碑参拝者数	人	180	277	190	150	
数値で表せない効果							
①友好交流団体等との連携を密に行い、周年記念事業や湘南藤沢市民マラソンへの姉妹友好都市招待を実施し多様な交流を通して友好親善が図られた。②聶耳記念碑を訪れる人々をおもてなしの心で対応し聶耳記念碑のPRに寄与した。							

4. コスト分析

年度		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
コスト	行政費用(フルコスト) A	28,657	34,357	48,618	42,019	
	(1)現金を伴う支出 (千円)	30,944	34,683	46,916	42,878	
	事業費(支出済額-②報酬合計)	11,988	15,589	22,802	19,678	
	償還金利子	0	0	0	0	
	人件費合計(①+②+③)	18,956	19,094	24,114	23,200	
	職員数(常勤 非常勤)	2.00 0.00	2.00 0.00	2.50 0.00	2.40 0.00	
	参考:正規職員平均給与	8,880	9,040	9,101	9,219	
	①職員給与合計(常勤)	17,760	18,080	22,753	22,126	
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0	
	③退職金相当額	1,196	1,014	1,361	1,074	
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-2,288	-326	1,702	-859	
	①減価償却費	81	81	81	81	
	②退職給与引当金繰入額	-2,369	-407	1,621	-940	
	③不納欠損額	0	0	0	0	
④その他()	0	0	0	0		
収入	行政収益(事業収入) B	11,988	15,589	22,802	19,678	
	(3)現金を伴う収入 (千円)	11,988	15,589	22,802	19,678	
	①分担金及び負担金 c	0	0	0	0	
	②使用料及び手数料 d	0	0	0	0	
	③国庫支出金	0	0	0	0	
	④県支出金	0	0	0	0	
	⑤その他(繰入金)	11,988	15,589	22,802	19,678	
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0		
収入未済増減額	0	0	0	0		
収支差額(純費用)A-B E	16,669	18,768	25,816	22,341		
分析指標	項目	事業参加人数 F	10,130	10,286	10,959	691
	1単位あたりの総費用 A/F (円)		2,828.92	3,340.17	4,436.35	60,808.97
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)		39.85 418,308	44.62 420,619	60.73 425,105	52.26 427,501
	受益者負担率 (C+D)/A (%)		0.00	0.00	0.00	0.00

※1 職員数・・・(常勤)一般職員,再任用職員,任期付職員,嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部日額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費・・・(常勤)任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部日額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し,事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成28年度の課題	社会の情勢等の様々な要因により調整がつかず、交流事業が一部実施できなかった。
(2) (1)解決のための平成29年度の取組	都市間交流、市民交流が途絶えることのないよう姉妹友好都市等と連絡を密に行った。
(3) 平成29年度の課題	藤沢市ホームステイ・ホームビジット制度における登録家庭の更新に当たり、登録家庭世帯数が減となった。また、荒天の影響により、ふじさわ国際交流フェスティバルが実施できなかった。
(4) (3)解決のための今後の取組	藤沢市ホームステイ・ホームビジット制度における登録家庭世帯数の増に向けて、制度の紹介方法について検討し、制度の紹介回数が増に取組む。ふじさわ国際交流フェスティバルのさらなる活性化に取り組み、継続した事業実施を行う。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠		
	<input type="radio"/>	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)		
	<input type="radio"/>	ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間		
	<input type="radio"/>	ア=恒久的に実施するもの イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…平成29年度支出済額	
		<input type="radio"/>	ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	
		<input type="radio"/>	ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	
		<input type="radio"/>	ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上
(3) 事業の種類			
(4) その他の事業特性			
2. 市民等サービス(その他)			

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	現在、国境を越えて人・物・情報がますます活発に動く時代を迎えており、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定により、日本へ訪れる外国人の数はさらに増加し、グローバル化が進展していくことが考えられる。海外の情勢を注視し、柔軟な対応・判断をしていく必要がある。	
	他市等の事例 神奈川県内では、本市を含む16市4町が49件の姉妹友好都市提携を行っている。近年では、こうした姉妹友好都市提携にとどまらず、それぞれの都市の目的にあった多様な形態での都市間連携・協力が行われている。	
市民ニーズ	把握方法	「藤沢市都市親善委員会」（市内団体等代表など20人） 年2～3回開催
	把握内容	都市親善事業の実施に向けての関係団体との連携の強化等、都市親善事業に対する意見
	対応等	更なる国際理解の推進に向けた施策に活用

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	姉妹友好都市等との調整がつかず、一部、未実施となった事業もあるものの、ウィンザー市との姉妹都市提携30周年及び保寧市との姉妹都市提携15周年記念事業をはじめとした交流事業について、市民や関係団体等と連携・協力して実施することができた。 また、姉妹友好都市との親善交流を深めるため、昨年度に引き続き、湘南藤沢市民マラソンへ国内外の姉妹友好都市を招待し、レースや記念行事への参加を通してスポーツ交流・文化交流及び市民交流を図るとともに本市の地域文化を発信することができた。	
	まちづくりテーマ	② 『2020年』に向けてまちの魅力を創出する
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	姉妹友好都市等との親善活動を通じ、教育・文化・産業・スポーツなどの交流を図り、市民相互の友好を推進していく。湘南藤沢市民マラソンへの姉妹友好都市招待をはじめ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、スポーツ交流・文化交流及び市民交流を通じて都市親善の推進を図る。	

9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク分類Ⅰ	リスク分類Ⅱ
27	姉妹友好都市交流に関すること	無	無	1	3
28	藤沢市都市親善委員会事務局に関すること	無	無	1	
29	その他外事に関すること	無	無	1	3
30	団体予算の支出・収入に関すること	無	無	3	3
31	非常勤職員等の給与支払に関すること	無	無		1
32	藤沢市グローバルビジョン推進に向けた取り組み	無	無		
33	各種団体との連携に関すること	無	無	1	3
34	国際交流フェスティバルに関すること	無	無	3	3
35	団体予算の支出・収入に関すること	無	無	3	3

※リスク分類Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。
 ※リスク分類Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	企画政策部	氏名	関口 隆峰	確認日	2018/6/6
----	-------	----	-------	-----	----------